

27 答申学給第1号

平成27年12月25日

一宮市教育委員会

教育長 中野 和雄 様

一宮市学校給食審議会

会長 佐々木 直



老朽化した学校給食調理場の更新について（答申）

平成27年7月13日付27 諮問学給第1号で諮問されましたこのことについて、当審議会は3回にわたり慎重に審議した結果、次のとおり答申します。

共同調理場方式（センター方式）、単独調理場方式（自校方式）ともに、施設の老朽化が進んでおり、安全・安心な学校給食を安定的に提供する施設の整備が急務です。「中長期的な視野での学校給食施設の更新計画」を市の責任において、早急に策定することを強く要望します。

なお、審議会が出された主な論点を列挙しますので、更新計画の策定にあたって留意していただきたい。

- ・ 調理場は、安全・安心な学校給食を実現するための施設であるので、「学校給食衛生管理基準」に適合した施設として更新すること。
- ・ 共同調理場方式と単独調理場方式には、それぞれ長所・短所があるので、併用も含めて総合的に検討すること。

なお、方式により建設経費に大きな差が見込まれることと、両方式とも建設場所の確保が容易ではないことなど、大きな課題については重点的に検討すること。

- ・ 共同調理場の建替えが当面の課題であるが、建替えにあたっては、適正な食数、受配校までの配送時間、学校給食栄養管理者（栄養教諭又は学校栄養職員）の負担軽減、現在地の跡地利用などを十分に考慮すること。
- ・ いわゆる親子方式やスクールランチ方式など他市での実践例も選択肢のひとつとして検討すること。